

まつど議会だより

発行／松戸市議会
編集／広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(https://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。

小学生にも
分かりやすい

市議会ガイドブック作成に向けて

市議会では、子どもたちが市議会の役割やしくみを学び、市政に関心を持ってもらうための「市議会ガイドブック」作成に向けて、こどもモニター（市長から委嘱を受けた市内の小中学生が市政への意見を行政に伝える制度）の子どもたちと市議会広報委員がグループワークを行いました。令和7年度内の完成を目指し、分かりやすく楽しい内容に仕上げていきます！

当日の様子



市議会トピックス

令和7年度松戸市一般会計補正予算（第4～6回）を可決

補正額	第4回	1億2,158万4千円
	第5回	25億1,063万1千円
	第6回	1億3,641万5千円

※補正予算（第5回・第6回）の詳細は3面に掲載しています。

人事案件

監査委員、固定資産評価審査委員会委員の選任、教育委員会委員の任命および人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。（敬称略）

- 監査委員
- 固定資産評価審査委員会委員
- 教育委員会委員
- 人権擁護委員

か 加 小 和 嶋
と 藤 の 野 座 の 野
ひ 広 光 か ず 一 嘉
ゆ き 之 寛 ひろ 弘 之

9月定例会

令和7年9月定例会を9月5日から9月30日まで開催しました。今定例会では、初日に市長から提出された補正予算1件を採決しました。また教育委員会委員の任命議案1件、固定資産評価審査委員会委員の選任議案1件、人権擁護委員候補者の推薦議案1件それぞれに同意しました。このほか市長から提出された6年度決算の認定議案12件、補正予算を含む一般議案23件、市民の方等から提出された請願5件を、それぞれの委員会において審査しました。最終日には、これらの案件のほかに市長から提出された監査委員の選任議案1件、議員提出議案4件を上程し、採決しました。（2面に審議結果、3面に決算審査の質疑、8面に討論を掲載）

なお35人の議員が市政に関する一般質問を行いました。

8月臨時会

令和7年8月臨時会を8月21日から8月22日まで開催しました。今臨時会では、初日に市長から提出された補正予算1件を、総務財務常任委員会で審査しました。最終日には、この議案を採決しました。（2面に審議結果を掲載）

決算審査特別委員会委員

- | | |
|-------|--------|
| ◎伊東英一 | ○大和山太郎 |
| 石塚裕 | 井出昌昭 |
| ミール計恵 | 西田善鈴 |
| 高橋伸之 | 工藤鈴子 |
| 箕輪信矢 | 末松裕人 |
- ◎委員長 ○副委員長

松戸市議会の情報を ホームページで 公開しています

本会議の様子は「インターネット
議会中継」でご覧
いただけます。



議会中継

声の議会だよりを ご利用ください

●問い合わせ先
松戸市障害者福祉センター
（ふれあい22内）
TEL 047(383)7111

マチイロ

スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」を利用して議会だよりを配信しています。詳細は市ホームページをご覧ください。

8 月 臨 時 会 ・ 9 月 定 例 会 審 議 結 果

■賛否など態度が分かれた市長提出議案 賛否などの態度決定に至った理由等は、市議会ホームページに掲載しています。

番号	件 名	付託先委員会	本会議の結果	公明党										清風まつど										松戸志政会										政策実現 フォーラム・社民				日本共産党				柿沼光利	嶋原舞	戸張友子	鴈野聡	二階堂剛				
				飯箸公明	高橋伸之	芦田満春	丹呉顕子	井出昌子	鈴木智明	岩瀬麻理	松尾尚	伊東英一	織原正幸	市川恵一	大橋博	田中睦生	石塚裕	大和山太郎	岡本優子	中村典子	渋谷剛士	杉山由祥	末松裕人	箕輪信矢	大谷茂範	広瀬優斗	西田善昭	大塚健児	鈴木大介	石井勇	深山能一	D E L I	原裕	竹内幸枝	増田薫	工藤鈴子	宇津野史行	ミール計恵	嶋村新一	山口正子	湯浅文									
認 定																																																		
第1号	令和6年度松戸市一般会計歳入歳出決算	決算審査特別委員会	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×			
第2号	令和6年度松戸市国民健康保険特別会計歳入歳出決算		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○		
第3号	令和6年度松戸市松戸競輪特別会計歳入歳出決算		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	
第6号	令和6年度松戸市介護保険特別会計歳入歳出決算		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
第7号	令和6年度松戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
第8号	令和6年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×		
第9号	令和6年度松戸市相模台地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
第11号	令和6年度松戸市病院事業決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○		
市長提出議案																																																		
第12号	令和7年度松戸市一般会計補正予算（第5回）	総務財務	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×			
第13号	令和7年度松戸市国民健康保険特別会計補正予算（第1回）	健康福祉	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○		
第14号	令和7年度松戸市介護保険特別会計補正予算（第1回）	健康福祉	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○		
第15号	令和7年度松戸市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）	健康福祉	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○		
第16号	令和7年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第1回）	建設経済	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×			
第17号	令和7年度松戸市病院事業会計補正予算（第1回）	健康福祉	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第23号	松戸市市税条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○		
第25号	松戸市老人福祉センター条例の一部を改正する条例の制定	教育環境	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○		
第38号	令和7年度松戸市一般会計補正予算（第6回）	庁舎整備	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対 議長は表決に加わらないため「/」と表示しています。

■全会一致の市長提出議案

番号	件 名	付託先 委員会	本会議 の結果
8月臨時会			
第11号	令和7年度松戸市一般会計補正予算（第4回）	総務 財務	可決
9月定例会			
認 定			
第4号	令和6年度松戸市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算	決算 審査 特別 委員会	認定
第5号	令和6年度松戸市駐車場事業特別会計歳入歳出決算		認定
第10号	令和6年度松戸市水道事業決算		認定
第12号	令和6年度松戸市下水道事業決算		認定
市長提出議案			
第18号	令和7年度松戸市下水道事業会計補正予算（第1回）	建設 経済	可決
第19号	松戸市スポーツ施設条例の一部を改正する条例の制定（クリーンセンター内スポーツ施設関係）	教育 環境	可決
第20号	松戸市スポーツ施設条例の一部を改正する条例の制定（松戸市東部スポーツパーク及び松戸市和名ヶ谷スポーツセンター関係）	教育 環境	可決
第21号	松戸市職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務 財務	可決
第22号	松戸市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務 財務	可決

■請願・議員提出議案

番号	件 名	付託先委員会	本会議の結果	採決
請 願				
第1号	ゆきとどいた教育を推進するために少人数学級にすることをもとめる請願	教育 環境	不採択	多数意見
第2号	ゆきとどいた教育を推進するために給食費の完全無償化をもとめる請願	教育 環境	不採択	多数意見
第3号	ゆきとどいた教育を推進するために教育施設の整備をもとめる請願	教育 環境	不採択	多数意見
第4号	ゆきとどいた教育を推進するために市費負担事故対策教職員の増員をもとめる請願	教育 環境	不採択	多数意見
第5号	ゆきとどいた教育を推進するために市費負担の教職員を増員することをもとめる請願	教育 環境	不採択	多数意見

番号	件 名	付託先委員会	本会議の結果
第24号	松戸市重度心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定	健康 福祉	可決
第26号	松戸市新焼却施設整備事業者選考委員会条例の制定	教育 環境	可決
第27号	松戸市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の制定	教育 環境	可決
第28号	松戸市中高層建築物等の建築等に係る紛争の予防及び調整に関する条例の一部を改正する条例の制定	建設 経済	可決
第29号	松戸市建築物における駐車施設の附置等に関する条例の一部を改正する条例の制定	建設 経済	可決
第30号	松戸市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定	総務 財務	可決
第31号	契約の締結（松戸駅西口駅前広場ペデストリアンデッキ改良工事）	建設 経済	同意
第32号	契約の締結（松戸市立梨香台小学校外壁改修工事）	教育 環境	同意
第33号	契約の締結（松戸市立大橋小学校外壁改修工事）	教育 環境	同意
第34号	契約の締結（松戸市立幸谷小学校外壁改修工事）	教育 環境	同意
第35号	教育委員会委員の任命（和座一弘氏）	—	同意
第36号	固定資産評価審査委員会委員の選任（小野光寛氏）	—	同意
第37号	人権擁護委員候補者の推薦（嶋野嘉之氏）	—	同意
第39号	監査委員の選任（加藤広之氏）	—	同意

番号	件 名	付託先委員会	本会議の結果	採決
議員提出議案				
第6号	千葉県営水道料金の値上げ先送りを求める意見書	—	否決	多数意見
第7号	政府による長生炭鉱水非常犠牲者の遺骨収容を求める意見書	—	否決	多数意見
第8号	多文化共生社会実現のための予算措置と法整備を求める意見書	—	否決	多数意見
第9号	核兵器禁止条約再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書	—	否決	多数意見

委員会の審査から

9月16日・17日・18日・19日に各委員会を開催し、提出された議案等について審査しました。

ここではその審査の中で一部の質疑・答弁（要点）を掲載します。

（審議結果は2面に掲載）

総務財務常任委員会

議案第12号 令和7年度松戸市一般会計補正予算（第5回）

問 広聴関係事業について、タウンミーティングを試行的に実施することとで、既に1回開催されたが、参加者の公平性を担保するために、どのようなことが行われたのか伺う。

答 令和7年8月2日の実施については、63人の応募があった。その中から、市長が抽選棒を引いて、当選した方が当日参加となっているため、公平性は担保されていると考える。

健康福祉常任委員会

議案第24号 松戸市重度心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 重度心身障害者医療費助成制度の受給対象者について人数の内訳と増減は。

答 令和6年度末時点の内訳は身体障害者手帳所持者が3877人、療育手帳所持者が832人、精神障害者保健福祉手帳所持者が259人、合計で4968人である。近年は身体障害者手帳所持者が減少傾向で、療育手帳および精神障害者保健福祉手帳所持者が増加傾向である。

教育環境常任委員会

議案第27号 松戸市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の制定について

問 条例を制定することで期待される効果について伺う。

答 令和5年施行の宅地造成及び特定盛土等規制法には土壌汚染防止の規定がないため、本条例で土壌汚染を防止する規制等を行うことで、ほかの地域から土壌汚染につながる残土等が運び込まれるリスクに対応し、市民生活の安全の確保と生活環境の保全につながると考える。

建設経済常任委員会

議案第16号 令和7年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第1回）

問 直接施行実施支援業務委託における委託内容の詳細を伺う。

答 直接施行の準備行為として、他市事例の調査等に加えて、直接施行に係る事業スケジュールや実施計画、事務的な要領等の作成を行う。また直接施行の実施時における立ち会いや記録、報告書作成等、総合的に業務をサポートしていただくことを想定している。

庁舎整備に関する特別委員会

議案第38号 令和7年度松戸市一般会計補正予算（第6回）

問 仮庁舎の賃借料等に係る費用を一般財源から拠出する考えはあるか伺う。

答 賃借料等および有料駐車場差額負担経費は一般財源で対応すべきと考えている。なお先般の松戸市財政運営の基本方針で示したとおり、実質単年度収支黒字化3年計画の改善状況を見極めながら、新庁舎建設時に庁舎建設基金を活用することで、財政負担を軽減できるように庁舎建設基金の円滑な運用に努めていく。

決算審査特別委員会の審査から

令和6年度決算（12会計）を認定（委員会名簿は1面・討論は8面に掲載）

決算審査特別委員会を設置し、令和6年度決算の審査を行いました。

ここでは一部の質疑・答弁（要点）を掲載します。

総務費

問 男女共同参画支援事業において、生理用品の無料配布の状況と周知方法について伺う。

答 令和5年11月に3カ所を追加し市内19カ所に拡大することで、生理用品を必要とする方に行き届きやすくなるよう環境の整備に努めている。また配布施設での掲示や市ホームページへの掲載、女性のための野の花カフェ等でも情報提供を行っており今後も本事業が広く伝わるよう広報活動に努める。

問 マイセンコレクション展の入場者数および状況を伺う。

答 本展はマイセン磁器38点の展示、会期は30日間、総来場者数は1万4975人であった。展覧会の理解を深め美術に親しむきっかけとして、ギャラリートークやポーセラーツ体験のワークショップも開催した。多くの方々にお越しいただき、本市の文化財のPRにもつながったと認識している。

問 文化複合施設整備基本構想策定支援業務の成果を伺う。

答 文化複合施設整備基本構想は、令和6年度にオープンハウスの手法で市民の意見をいただく等の基本的な考え方をまとめた。現在内容を精査しており、施設のコンセプト等の具体案を7年度を目途に提示したいと考えている。

民生費

問 グリーンスローモビリティ地域推進事業の課題を伺う。

答 車両はまだまだ発展途上であり経年劣化による故障等が発生し、都度メーカーと連携し対応している。より安全安心な運行体制確立のため、令和7年度からメーカーに月1回の車両点検を委託し、故障等の未然防止に努めている。

問 子どもの自立支援プログラム業務委託による成果を伺う。

答 6年度は22人の児童に支援を行い、支援員が家庭訪問を行うことで家族以外の人との関わりに慣れ、子どもの居場所を利用できるようにになった児童、定期的に支援拠点に通い、生活体験を通して昼夜逆転や食生活が改善した児童、個別に学習支援を行い、諦めていた高校進学ができた児童等がいた。

教育費

問 都市景観推進事業の松戸駅周辺公共サイン実施設計等委託料について進捗と今後の進め方は。

答 本事業は松戸駅周辺で案内板や誘導看板等、公共サインを整備するものである。令和5年度に松戸駅周辺公共サイン整備計画を策定し、国の補助金を活用しながら6年度より実施設計に着手、8年度までに整備する予定である。地元の方々の意見も伺い、デザインが統一された分かりやすいサインを一元的に整備し、来訪者の回遊性向上と景観改善に努めていく。

問 結婚新生活住宅支援業務における補助金の交付実績を伺う。

答 令和6年度交付件数については135件、金額は4539万2千円となっており、申請された全世帯に交付している。

会派別一覧

会派構成に変更がありました。

松戸市議会では、3人以上で構成する団体を会派としています。

（令和7年8月7日現在）

公明党 10人	清風まつど 10人	松戸志政会 8人	政策実現 フォーラム・社民 5人	日本共産党 4人
◎ 飯高 芦丹井 鈴岩 松伊 織	◎ 市大田 石大岡 中波 杉末	◎ 箕大 広西 大鈴 石深	◎ D 原竹 増工	◎ 宇津野 史計 新一子
○ 箸橋 田呉 出木 瀬尾 東原 英正	○ 川橋 中塚 山本 村谷 山松	○ 輪谷 瀬田 塚木 井山	○ E 内田 藤	○ ミー ル 村 口
明之春 子子明 理尚 一幸	恵 睦 太優 典剛 由裕	矢範 斗昭 児介 勇一	L 裕 幸 鈴	無所属 舞
公伸 満 顕昌 智 麻	市大田 石大岡 中波 杉末	信茂 優 善 健 大 能	無所属 利	無所属 聡
菅橋 田 呉 出木 瀬尾 東原	無所属 文	輪谷 瀬田 塚木 井山	無所属 子	無所属 剛
議員数合計 43人	◎ 幹事長 ○ 副幹事長	湯 浅	戸 張 友 子	二階堂

一般質問

9月定例会では、9月8日・9日・10日・11日・12日の5日間にわたり、35人の議員が市政に関する一般質問を行いました。その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

※議長・副議長および議会選出監査委員は、一般質問を行っておりません。

ヤングケアラー支援拡充について

公明党

岩瀬 麻理

問 児童生徒自身がヤングケアラーと気付き相談できることが大事と考えるが、小中学校での出前講座実施や、家事支援サポーターの無料派遣、経済的支援をパッケージ化して行う考えはないか伺う。

答 支援を要する子どもの早期発見と、必要な支援につなぐため、ヤングケアラーコーディネートーターを中心に関係機関との情報共有や、アンケートや相談レターによる実態把握と関係機関との相談体制を強化している。また家事育児支援を行うヘルパーや資格を持つ支援員が専門的助言等を行う訪問事業、フードバンクの活用等食料や物資の支援を実施している。今後もパッケージ化を含め支援に努める。

スポーツ活動促進について

清風まつど

田中 睦生

問 地元プロスポーツチーム誕生や誘致には育む環境作りが重要な要素だが、松戸市財政運営の基本方針とスポーツ支援の考え方について市の見解を伺う。

答 地元プロスポーツチームの誕生は、新たな松戸の魅力が

生まれスポーツによるまちづくりが大きく発展すると認識している。一方で財政健全化は喫緊の課題で誘致に当たり公民連携が必要不可欠である。既に本市出身のプロアスリート等を、市民と一体となり応援する取り組みを進めていることを踏まえ、地域に根差したプロスポーツチーム誘致を試み経済の活性化を図る等松戸らしいスポーツタウンを目指していく。



スポーツ施設における酷暑対策について

松戸志政会

鈴木 大介

問 熱中症リスクに対応した設備導入の可能性について伺う。

答 屋内施設は、市内体育館の空調設備整備を進めており、令和7年度は柿の木台公園体育館に整備する予定である。屋外のグラウンド等は空調設備のあ

る部屋を休憩スペースとして一時的に開放する等、施設の特性に応じた暑さ対策に取り組んでいる。管理人が常駐しない屋外施設は、安全管理や故障等のリスクもあることから現状では設備導入は行っていない。しかしながら今後改修等のタイミングに合わせて、効果的な設備等の検討を行うとともに、施設の構造や利用形態、費用対効果等を踏まえ、熱中症対策に引き続き取り組んでいく。

AED設置について

公明党

丹呉 顕子

問 本市ではAEDの貸し出しを行っているが、拠点や台数が限られている。利用者からは体制の充実を求める声が寄せられているが、AEDの設置状況および取り組みについて伺う。

答 令和7年3月末日時点で、

市内183のコンビニエンスストア等に設置され、加えて公共施設や市内511の民間事業所にも519台が設置されている。また万が一、AEDの貸し出しが困難となる事案が散見される場合には、設置場所や台数の在り方を検討したい。なおAEDを実際に使える人を増やすことが重要であるため、応急手当の普及や啓発活動を推進し、市民の皆さまが安心して暮らせるまちづくりの体制整備に取り組む。

「有害ごみ」専用の「ごみ袋配布の効果について

無所属

鴈野 聡

問 令和5年9月定例会で、リチウムイオン電池による松戸市リサイクルセンターの火災を防ぐため、有害ごみ専用のごみ袋の無償配布を提案し、配布が開始されたが、その効果を伺う。

答 5年11月から市役所や支

所等、100カ所以上に約5万4千枚配布している。効果について、リチウム二次コインの販売数量は7年6月時点で前年同月比113%という統計結果の中、リサイクルセンターの発火によるライン停止の増加率は、109.8%で抑えられたため、効果は表れている。また有害ごみ袋は選別作業時に袋の色で認識でき作業効率が上がったため、広報やイベントの配布等を活用し、引き続き周知に努めていく。

AIオンデマンド交通の導入について

公明党

鈴木 智明

問 公共交通空白地域や不便地域の解消に向けて、地域特性を捉え、多様な移動手段の一つとして、AIオンデマンド交通の検討が必要であると考え、市の見解を伺う。

答 AIオンデマンド交通の

導入が進んでいる自治体がある一方で、運転手不足による運行体制の確保や、既存公共交通機関との調整、採算性や財政負担等の課題が明らかとなっている。今後は技術の進展や実情を的確に捉えながら、令和8年4月策定予定の地域公共交通計画の作成過程において、AIオンデマンド交通を含め、多様なニーズに対応する新たな交通手段の活用について議論を重ね、取り組みや方向性を示していきたい。

若者文化の支援について

清風まつど

石塚 裕

問 若者が共感できる新たな文化活動として挙げられる、ダンスおよびeスポーツの支援について、本市の見解を伺う。

答 ダンスについては、X Pや松戸まつりでイベント開催を支援しているが、駅前デッキ等

の公共空間等をさらに活用し、より多くの発表の場と機会創出の検討を進めていく。eスポーツについては、松戸まつりで松戸商工会議所青年部による体験機会が設けられると伺っている。本年度はさらに市内事業者と連携した体験イベントを開催し、今後の拡大等を検討する予定である。今後も若者文化を積極的に支援し、若者文化の発信と松戸発の新しいカルチャー育成の実現に取り組んでいく。

財政運営の基本方針について

無所属

柿沼 光利

問 ネーミングライツ制度導入後に市民が期待できる効果について伺う。

答 先進事例によると、効果は主に3点ある。1点目は協賛金で得た収入を施設の維持管理等に充て、市民が安心して利

用できる環境整備に資すること、2点目は地域企業と連携し、施設が市民にとって身近で親しみやすい存在となること、3点目は施設名を通じ地域の知名度や発信力が高まり、市民生活や地域経済の活性化に寄与することである。ネーミングライツ制度の導入は一般財源の確保に加え、市民生活や地域活力等さまざまな効果が期待できる施策であると考えている。



松戸市斎場・北山市民会館 について

公明党

伊東 英一

問 ①火葬炉前ホールにおいて、スポット冷房設置や窓を開閉式にすること、ミスト噴霧等の暑さ対策をする考えはないか
②今後も長期にわたって安定した松戸市斎場の運営を行っていくため、施設のリニューアルに

ついて考えを伺う。

答 ①ミスト噴霧は、湿気により内装・柱を傷める可能性があるため設置が困難である。駐車場側の窓については今後緑のカーテンを設置する等、少しでも日光を遮るような対策を講じたいと考える。炉前ホールについては参列者が集まる場所が限られるため、スポットクーラーの設置を含め検討する②建て替えではなく、火葬炉10基を維持し長寿命化を引き続き進めたい。

市立総合医療センターの 経営再建方針について

無所属

湯浅 文

問 ①病床数など適正な病院規模についての考えは②市長と経営再建プロジェクトチームの考えが異なる場合の対応を伺う。
答 ①政策医療を守ることを前提に医療行政の動向や医療需要を見据えた上で設定するもの

と考える。現在の病床運用では、成人の一般病棟でコロナ禍前の水準に患者数が戻らず病床を埋めることが困難である。また大幅に増加した人件費等で危機的な経営状況に陥っているため、適正な病床数の見直しは必要と考えており、経営再建プロジェクトチームで検討していく②病床数の検討結果等を含んだ経営計画を市長がトップの松戸市総合政策会議に諮り、調整するため、整合が取れるものと考えている。

小中学校の長寿命化 について

松戸市政会

広瀬 優斗

問 老朽化した校舎は、これまでの契約含め現在どのような段階で、費用はどれだけかかっているか、今後この経過がどのように扱われ、学校長寿命化全体の方向性をいつまでに示すか。
答 令和3年12月に、松戸市

学校施設長寿命化・再整備計画（第1期）を策定し、現在、小金北小学校は2カ年の設計委託を8162万円、南部小学校は同委託を9218万円、栗ヶ沢小学校および上本郷第二小学校は事前調査委託を2校2728万円で契約した。7年8月に松戸市財政運営の基本方針が示され工事の実施時期を検討することとなったため、小金北小学校の工事は7年度中に、その他の学校は9年度までに再検討する。

矢切の耕地について

日本共産党

ミール 計恵

問 市長は松戸市長選挙での公開質問状において、矢切の耕地への物流倉庫建設に対し反対と回答している。その実現には、松戸市都市計画マスタープラン（市街化調整区域編）の撤回が必要だが、その考えはあるか。

答 公開質問状への回答は、環境に配慮しない大型物流倉庫建設への反対という私の考えを示した。本市の市街化調整区域は、各地区の特色を踏まえ都市計画審議会での意見を徴し、本計画を策定・公表した。矢切地区の持つ豊富な自然的資源や交通利便性等の多面的な特徴を生かし、引き続き地域の持続的発展や活性化に資するバランスの取れた、より良い土地利用が図られるよう取り組んでいく。

「東京2025デフリンピック」 の更なる意識醸成について

公明党

井出 昌子

問 今後計画しているイベント等の詳細と、子どもたち対象のデフスポーツ選手とのスポーツ交流体験の開催について伺う。
答 デフリンピックの開催について、市公式SNS等を活用し、大会の50日前から当日まで

定期的に各競技の見所や本市出身選手を紹介し、大会への機運を高めていく。またデフスポーツの魅力を発信するイベントを10月20日にテラスモール松戸で開催し、本市出身選手等のトークショーや手話サークルによる手話ダンスの披露等を予定している。さらにデフアスリートと子どもたちが直接交流できる体験会も検討し、障害への理解を深め互いを尊重し合う共生社会の実現に向けて取り組んでいく。

多様な就労・社会参加の 環境整備について

松戸市政会

西田 善昭

問 高齢者全般の就労支援について、本市の考えと取り組みを伺う。
答 定年退職後もさまざまな形で就労を続けることは介護予防の効果も期待でき、健康寿命の延伸にもつながることから、

希望する方が働き続けることができる環境整備が重要と認識している。現在、本市ではシルバークリニクスを活用した就労支援や、ハローワーク等関係機関と連携した高齢者への就労支援セミナーを開催する等、多様な就労ニーズに合わせた支援に努めている。高齢者が健康で生きがいや役割を持つ活躍できる生涯現役社会の実現に向けて、高齢者の多様な働き方に対応した就労支援に努めたい。

RSウイルスワクチンの 接種費用助成について

公明党

織原 正幸

問 RSウイルスワクチン接種費用の助成を導入すべきと考えるが、本市の見解を伺う。
答 RSウイルスワクチンとは妊娠24週から36週の間に母親に接種することで、母親の体内でRSウイルスに対する抗体が

増加し、その抗体が胎盤を通して赤ちゃんに移行し、生後6カ月頃まで気管支炎等から守ることができる母子免疫ワクチンである。定期接種化は初めてであることから、ワクチン等の有効性、安全性、費用対効果の評価・検討が途中であり、予防接種法上には位置付けられていない現状である。市としては、先進事例を参考にしつつ、国の審議結果を注視しながら、慎重に対応していきたいと考えている。

「コミュニティ・スクールの 推進について

政策実現フォーラム・市民

竹内 幸枝

問 国は「地域とともにある学校づくり」のため、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を推奨している。コミュニティ・スクールが設置されている小金小学校に地域学校協働本部を設置し、一体

的推進を検討すべきと考えるが、見解を伺う。
答 地域と学校が互いに望ましい形でコミュニティ・スクールや地域学校協働活動を導入し、持続可能な取り組みとなっていくことが重要と考える。地域の団体と学校との連携・協働の状況や、地域に愛される学校として地域との関係をより強化したいという学校の思いなどを踏まえ、それぞれの学校の実情に応じた支援をしていく。

猛暑対策について

公明党

飯箸 公明

問 初めて訪れる他市の方々におもてなしの心を表現するとともに、猛暑対策のため、松戸駅東西デッキにミストシャワーを設置する考えはあるか伺う。
答 ミストシャワーは、気化熱作用により気温を低減する効

果があるとされ、設置により市で進めている地球温暖化防止対策等の啓発にもつながる。また松戸駅東西デッキを爽やかに演出し市の印象アップも期待できる。一方、設置場所等により気温低減効果に差が出るとの報告もある。松戸駅東西デッキに設置する場合、進行中の駅改良事業との関係を踏まえた設置場所等の検証や設置後の維持管理の調整が必要となるため、今後は先進事例等を研究していく。

病院事業について

公明党

高橋 伸之

問 市立総合医療センター経営再建方針における病床規模数適正化について、従来の説明との整合性および外部専門人材の伴走型コンサルタントの導入で、医師や看護師等のモチベーション低下の懸念への対応を伺う。

答 第3次経営計画の増収計画として盛り込んだ別棟建設等による600床稼働は、資材価格高騰等の影響で実現に至っておらず、人件費の急増により、収支実績は計画と大きく乖離し、見通しが甘かったと認識している。スタッフの負担については、病院幹部が各部署を回り、不安や困りごとに対応しており、その取り組みがモチベーション向上につながっている。



新焼却施設について

公明党

芦田 満春

問 五香十字路を通行する車両が増えることから、渋滞を懸念する不安の声が近隣から出ているが、搬入出車両による近隣地域の渋滞について、対策を検討しているか伺う。

答 五香十字路の渋滞は、新

焼却施設建設において、重要な課題であると認識しており、環境影響評価では1日当たりの搬入出車両の台数を285台と想定して手続きを進めている。現在は、現地調査をおおむね終え、調査結果・影響を「環境影響評価準備書」として取りまとめている。今後は最終的なまとめとなる「環境影響評価書」等の結果を踏まえ、五香十字路を走行する収集車について、少しでも減少できるよう検討する。

農業政策について

松戸志政会

深山 能一

問 松戸市都市農業振興計画の中間見直しで示された物価高騰対策について、今後の考えは。

答 農業は農産物を育てる生産と消費者等に届ける出荷の二つの過程があり、本市では生産段階の支援として、令和7年度

から農業用機械、ビニールハウス等に係る燃料費や光熱水費に対し、経費の一部を補助することとした。今後は多くの農業者からビニールや段ボール等の出荷用資材に対して、支援を求める声がある状況に鑑み、出荷段階にも支援を行うことで、農業者の負担軽減だけでなく、市民生活に欠かせない野菜の価格安定にもつながると考えられることから、他自治体の事例も踏まえ支援の在り方を検討していく。

安全で安心して暮らせるまちづくりについて

政策実現フォーラム・社民 原 裕二

問 防犯カメラ増設のため、現行の街頭カメラより安価なカメラ付き防犯灯を来年度の新たな防犯灯リースの公募等に合わせ導入する考えはないか伺う。

答 防犯灯LED化リース事業は令和7年度末に契約期間満了となる。同事業は、町会・自治会の費用や維持管理の負担軽減等のメリットがあり、契約終了後も実施を検討している。次期リースへの組み込みは、リースの要件や本市における防犯カメラの設置や管理に係る見解等、さまざまな角度からの検証が必要である。防犯カメラの増設は、犯罪の抑止につながり、市民が安全安心に生活していくために重要であることから、より多く設置できるよう検討していく。

松戸駅東西口の公衆便所（公衆トイレ）の設置について

清風まつど

岡本 優子

問 女子トイレにおける生理用品の無償提供は、経済的困難を抱える方への支援に加え、誰もが安心して外出できる環境づくりに資する重大な施策である。特にスマートフォンアプリと連動し、個室内で生理用品を無償

で受け取れる仕組みは、利用者のプライバシーを守りながら、必要な支援を受けられる点で非常に有効である。このような仕組みを導入することで、利便性と尊厳の両立を図ることが可能だと考えるが、市の見解を伺う。

答 生理用品が一定条件の下、無償配布される機器の設置については、商業施設だけでなく公共施設においても機器を設置していることは聞き及んでおり、設置に向け検討している。

高齢者等の安全な移動について

清風まつど

大和山 太郎

問 グリーンスローモビリティ事業の今後の方向性について本市の考えを伺う。

答 今後については、いくつかの地域から相談はあるが、事務局編成や運転手等人材の確保が困難である等の理由で、現時

点では新たな地域での運行は予定していない。既に運行している4地域については、引き続き運行主体である地域の意見を伺いながら、きめ細やかな伴走支援を行っていく。個人や少人数の移動に関する生活支援については、グリーンスローモビリティに限らず、個別支援の拡充も図っていく。今後とも庁内外の関係者と連携を図り、地域の状況等に応じた、多面的な移動支援の検討を進めていく。

更なるDXの推進について

清風まつど

中村 典子

問 千葉県市川市でデジタル地域通貨が本格導入され、本市でも独自のデジタル地域通貨の検討が必要ではないかと考えるが、デジタル地域通貨等の活用が可能なシステム対応について、市の考えを伺う。

答 現在デジタル住民ポータルサービス「デジまつ」の導入を進めている。このサービスは、市民活動の活性化等を目指した「デジタルを活用した地域通貨等の導入」も可能であると認識している。他市の事例の費用対効果等を検証するとともに、国や民間企業のキャッシュレス決済基盤の動向を分析し、市民にとって便利で分かりやすいサービスの導入を目指していく。



災害時の乳幼児支援について

政策実現フォーラム・社民 増田 薫

問 災害時の授乳環境は大変重要である。避難所で赤ちゃんにミルクを与える場合や哺乳瓶の乳首が洗浄できない場合にどのような対策をしているか。

答 災害時の女性視点での避難所における備蓄や避難所の運営、特に乳児を抱える女性の避難所の環境整備は大変重要であると認識している。ミルクを温めるものとして、カセットコンロについては市の防災拠点倉庫に備蓄しており、各避難所のニーズに応じて支援する体制である。また災害時に哺乳瓶の乳首を洗浄できない場合、替乳首やプラスチック製のコップを備蓄している。今後も乳幼児に対する衛生面および安全面を考慮した備蓄品の購入を検討していく。

少子化問題について

政策実現フォーラム・社民 工藤 鈴子

問 少子化問題の解決には、根本的な要因の理解が不可欠と考えるが、本市におけるさまざまな対策は少子化の要因をどう捉えて行われているのか伺う。

答 国立社会保障・人口問題研究所の調査では、未婚の若者

で「いずれ結婚するつもり」と答えた人が8割を超えた高い数値で推移している。結婚、妊娠・出産は個人の意思決定に基づくもので、多様な価値観・考え方を前提とするものであり、経済状況や若者の雇用状況等にも左右されると考える。少子化対策として、若者が希望するライフスタイルにあった働き方、ライフデザインを支援するため、若者を取り巻く環境と意識に寄り添った施策に取り組んでいく。

松戸市財政運営の基本方針について

政策実現フォーラム・市民DELI

問 本市の財政について、急激に悪化したのではなく徐々に悪化し、耐え切れない状況になったと認識しているが、市が大きな方針転換、軌道修正が必要だと認識した時期と契機を伺う。

答 財政負担増大の兆しは令和4年度決算時点で一定程度の課題を認識していた。当時は義務的経費の増加等は把握していたが、直ちに財政構造全体に深刻な影響を及ぼすかは明確な見通しを持っていなかった。急激な物価高騰で各種事業費等が大幅に増加し、予期せぬ財政負担がより顕在化したことを踏まえ、7年6月以降、大型事業で想定される事業費等の整理を進めたところ、想定を上回る負担が見込まれることが明らかになった。

病院事業について

無所属

二階堂 剛

問 本市職員の健診事業拡大等も含めた人件費抑制の具体的な改善取り組みについて伺う。

答 本市職員を対象にした健診事業の拡大は、今後の病床規模数の検討における既存棟の余剰スペース活用の一つの選択肢

平和事業について

日本共産党

嶋村 新一

問 本市では平和を体験から学んでほしいと「平和大使長崎派遣」事業を2008年から実施している。派遣後の生徒たちの感想から読み取れる成果と、事業の課題や展望を伺う。

答 派遣した平和大使からは

登下校の見守りについて

無所属

戸張 友子

問 登下校の見守りボランティアは地域住民が協力し、子どもたちの安全を守る活動でスクールガード等と呼ばれている。現状、ボランティアの担い手不足のため有償ボランティアを導入すべきと考えるが見解を伺う。

答 高齢者の就業率、共働き世帯の増加等により、スクールガードの担い手不足は喫緊の課題と認識している。また有償ボランティアは専門的な視点から通学路の点検や学校への安全対策に関する助言等、児童生徒の安全確保に重要な役割を担っていると認識している。今後もスクールガードの確保に努めるとともに、他市の事例を参考に交通安全指導を行う有償ボランティアの活用も研究していく。

生活保護について

日本共産党

宇津野 史行

問 生活保護基準の引き下げを違法とし、最高裁判所は令和7年6月に保護費減額処分を取り消しを命じた。7年3月定例会にて、生活保護基準の定期検証で国から意見を求められた際は必要な情報を伝えるとの答弁

だったが、情報とは何か。また引き下げ分の保護費返還を国に求めるべきと思うが見解を伺う。

答 国が生活保護基準の定期検証を行うに当たり、地方自治体に求める情報等は改定ごとに異なるため、求めに応じ情報や意見を回答する。また生活保護基準改定訴訟は、国が専門委員会を設置し審議を開始していることから、対象時期の支給情報等は廃棄せず、審議の結論が出た際に適切に対応していく。

市立総合医療センター経営再建方針について

日本共産党

山口 正子

問 市立総合医療センターを利用している自治体に対して、利用実績に応じた財政負担を求める考えはあるか伺う。

答 現状は千葉県からの補助金や一般会計からの繰出金で運営しているが、補助金は基準額

に届いていない。繰出金の原資となる交付税措置では、物価高騰の影響がカバーできず、運営実態に見合う財源措置とはなっていない部分もあると認識しており、政策医療の経費は病院の負担が大きくなっている。今後、県や近隣市との連携強化による広域医療体制の構築、負担の在り方についても経営再建プロジェクトで検討していくことが必要だと考えている。

市長の政治姿勢について

清風まつど

杉山 由祥

問 令和7年8月22日の全員協議会で説明のあった松戸市財政運営の基本方針について、総合計画等の長期計画を見直す考えはあるか伺う。

答 総合計画において7年度は8年間の計画期間の中間年度

公立学校における歴史教育について

無所属

嶋原 舞

問 多角的でバランスの取れた歴史教育のために民族の精神的基盤となる神話教育を見直すことについて、市の見解を伺う。

答 市立小中学校は、学習指導要領に基づき指導すべき内容等を踏まえ「何を身に付けるの

か」を明確にした授業を計画し、学習を進めている。小学2年生の国語科では古事記『いなばのしろうさぎ』を学習する等「昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、言語文化に親しむ力」が身に付くよう指導している。今後も学習指導要領にのっとり、各教科単元のねらいに迫る学習指導のために、さまざまな方法を用いて授業が行われるよう支援する。



新庁舎整備について

清風まつど

大橋 博

問 仮庁舎への移転を進めた場合に要する費用を伺う。

答 移転初期に必要なインシヤルコストは、仮庁舎として事務を行うための環境整備費用でレイアウトの設計業務に係る費用、仮事務所化に伴う内部改修

工事や仮庁舎への引っ越しにかかる費用である。継続的に生じるランニングコストは、仮庁舎の賃借料等を想定している。インシヤルコストは今後のレイアウト設計業務にて、概算費用を算出次第、示したいと考えている。またランニングコストは賃借料や諸条件等について、貸主と経費縮減に向け協議中ではあるが、賃借料で年額約5・4億円、この他、管理費や光熱水費等の実費負担を想定している。

決算討論



討論の詳細はこちら

令和6年度決算について、8人の議員が定例会最終日に討論を行いました。

ここでは会派の討論を掲載します。割り当てられた討論時間に応じた紙面配分で掲載しています。

公明党

令和6年度一般会計、各特別会計および各企業会計全ての決算に賛成する。

令和6年度は、物価高や人手不足等を背景にデフレ脱却への歩みを進めつつある一方、人口減少と少子高齢化が大きな課題となった。市民福祉の向上が目的であるという視点に立ち決算審査に臨んだ。教育環境づくりについて、全ての市立小中高等学校の体育館空調整備設計が完了した。体育館は災害時の避難場所になる重要施設でもあるため期待する。小学校2校のエレベーター設置工事設計が実施された。市立小学校に車椅子の児童がいることから、市立松戸高等学校にエレベーターは必要と考える。

高齢化に向けた取り組みについて、特に地域包括支援センターの役割は大きく、本市は国が定める基準以上の専門職を配置しているが、高齢化率の高い地域で職員が疲弊しないよう職場環境や人員配置への配慮を要望する。認知症対策については、認知症サポーター養成講座等を充実する等、高齢者に優しいまちへの取り組みをお願いする。

本市のまちづくりについて、スポーツを楽しむ環境として旧根本内東小学校跡地にスポーツ施設を整備する基本設計委託が行われたが、7年8月に示された松戸市財政運営の基本方針により、区分B（建設等の大型事業が総合的に整理され、

優先事業が区分A、それ以外が区分Bとなった）となり、9年度に工事の実施時期が再検討となった。地域住民の期待を裏切ることなく事業を執行するよう要望する。この他、文化複合施設整備基本構想策定等が区分Bとなったが、本市が魅力的なまちとなる取り組みであることから、停滞なく進めるよう要望する。

清風まっど

令和6年度一般会計、各特別会計および各企業会計全ての決算に賛成する。

令和6年度の決算審査に当たり、予算で示された施策の方向性が執行段階で着実に実施されているか、執行の過程で経費縮減が図られているか、そしてその結果が住民福祉の向上に結び付いているか、主にこれらの視点で審査を心掛けた。歳入では、その根幹となる市税収入が5年度に引き続き堅調に推移し、その他の財源も適正に確保されており関係各部署の取り組みを評価する。市税収入は、前年度比でおよそ2億円増の約730億円となり、過去最大となった。引き続き市税収入等の確保に努めるよう要望する。歳出では、子どもから高齢者に至る各市民に対する支援策に併せて、未来への投資としてのまちづくりや、施設設備の整備・更新等も行われ、厳しい財政状況の中で一定の成果を上げていることを評価する。6年度において着手してきた数々の大型事業について、その実現可能性を精査し、説明責任を果たしながら今後の施策展開につなげるよう要望する。財政調整基金については、5年度より約26億5千万円の減少となっており、その主な理由として物価高等への対応や国民健康保険特別会計への繰出金等が挙げられる。今後も同様の支出が続くと、財政調整基金による対応には限界があることから早急の対応を要望する。市債の発行については、今後の推移を的確に把握し、過度な将来負担とならないよう慎重に行うよう要望する。各特別会計、各企業会計においては、

松戸志政会

令和6年度一般会計、各特別会計および各企業会計全ての決算に賛成する。

特定の歳入で事業運営をするという設置目的に従い一般会計からの繰入金等に依存しない体質強化に努めるよう要望する。令和6年度一般会計、各特別会計および各企業会計全ての決算に賛成する。厳しい財政状況が示されたが、決算審査を再建へのスタートとすべく、財政立て直しを最優先した姿勢で決算に臨んだ。一般会計の総務費では、シティプロモーション推進事業について、本市の魅力の定義付けが甘く、対象層、目指す成果といった目的が曖昧であった。今後継続する場合、具体的な目標設定をした上で事業を再構築することを要望する。民生費では、オンライン相談について、家庭児童相談関係業務や、自殺対策事業等、相談内容が多岐に渡っているとはいえず、相談窓口が多過ぎると指摘した。財政負担の軽減や業務の効率化を目的に各種相談業務を整理してまとめることはできないか、検討を要望する。教育費では、マイセン磁器保管委託料について、特別展は大盛況であったものの、当初計画されていた森のホールでの常設展示が見直しを余儀なくされた経緯を踏まえると、寄贈を受けた正当性を示すものにはならない。市民の財産として有効活用する方策を練るよう要望する。歳入では、仮に本市の都市計画税の制限率が0・3%に引き上げられた場合、年間約13億円の税収増が見込まれるため、税率引き上げ検討の時期であると認識する。また使用料及び手数料について「実質単年度収支黒字化3か年計画」の確実な実行、受益者負担見直しに言及した力強い答弁があったことを評価する。

政策実現フォーラム・市民

令和6年度一般会計、松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計に反対し、公設地方卸売市場事業、駐車場事業、相模台地区土地区画整理事業特別会計および各企業会計に賛成する。

一般会計の土木費では、まちづくり基本構想推進業務や調査資料等の成果物について、不確定要素が多い中で、どうしても大型事業が計画的に進められていると感じることができなかった。

教育費では、マイセン磁器保管委託料と美術展開催業務について、維持管理にかかる費用等、今後展示会等の事業を行う際は、受益者負担で賄うというようにすることも考えるべきではないか。

歳入については、本市が財政再建を目指すためには、決算値を他市と比較、分析することも重要だと思うので、その辺りも念頭に置いていただきたい。

予算の中では、本来なら最優先に考えるべき市民生活に関わる事業も多数含まれており、当然そのような事業については予算の執行を認めるべきと考えるが、総合的に勘案し、今回は認めることができないという判断をした。

日本共産党

令和6年度一般会計、国民健康保険、競輪、介護保険、後期高齢者医療、松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業、相模台地区土地区画整理事業特別会計、病院事業会計に反対し、その他特別会計および企業会計の決算に賛成する。一般会計の総務費では、全国統一の標準化システムへの移行とガバメントクラウドの稼働による経費は3年間で約6億2300万円であった。また今後のランニングコストは不明であり、デジタル化によるコスト負担は増加の一途である。民生費では、送迎保育ステーションについて、以前より幼稚園と保護者の関係性が希薄となる点を指摘しており、市は利用規約で週1回の面談を設けているが、実態を把握していないことが判明した。歳入では、市税の伸びについて、就業者数の増加によるものであることが判明した。一人当たりの市税は令和5年度より減少し、収入が伸びていないことから、市民の厳しい生活実態が明らかとなった。

12月定例会の開催予定

令和7年松戸市議会12月定例会は、12月1日（月）から12月17日（水）まで、いずれも午前10時より開催する予定です。請願は11月19日（水）正午が提出期限です。

日程	主な内容
12月1日（月）	招集日・本会議（議案提案理由説明）
2日（火）	本会議（一般質問）
3日（水）	本会議（一般質問）
4日（木）	本会議（一般質問）
5日（金）	本会議（一般質問）
8日（月）	本会議（一般質問・議案質疑）
10日（水）	総務財務常任委員会
11日（木）	健康福祉常任委員会
12日（金）	教育環境常任委員会
15日（月）	建設経済常任委員会
17日（水）	本会議（議案等の採決）

※このほか随時、委員会が開催される場合があります。また開催予定が変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

議会傍聴について

傍聴についてはお問い合わせいただくかホームページでご確認ください。

●問い合わせ先 市議会事務局庶務課
TEL 047（366）7381

編集の窓



「青は藍より出でて藍より青し」という言葉。藍は蓼科の植物で青色の染料として用いられてきました。その葉をしばった染色液は鮮明な青色ではありません。それでも何度も重ねて染めることで色が濃く鮮やかになることから「学問は中断しなければすぐれた効果をあげる」ことを意味します。

そう考えると令和6年度決算審査はまさにこのこと。成果を確認することでこれから生かすことができます。

さらにこの言葉には「後継者の成長」との意味も。今夏、こどもモニターの皆さまに市議会ガイドブック作成に携わっていただきました。将来を担う子どもたちの成長が期待されます。

次回発行予定は2月1日（日）です